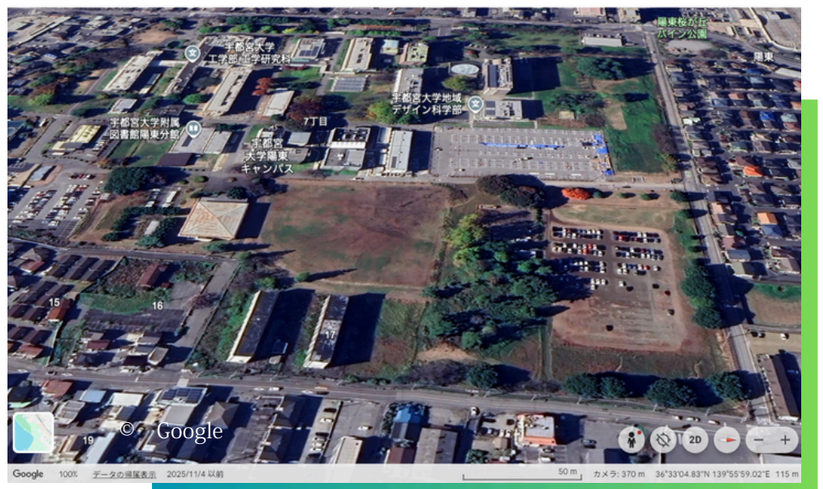
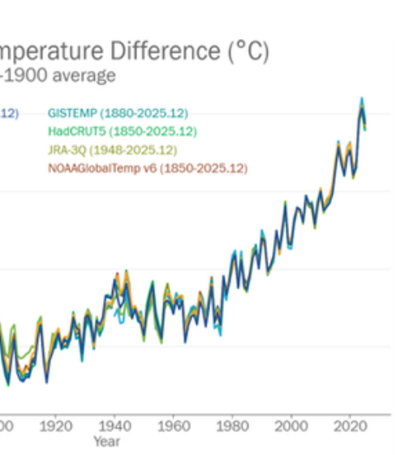
2026年度　宇都宮大学　多文化公共圏フォーラム第６回

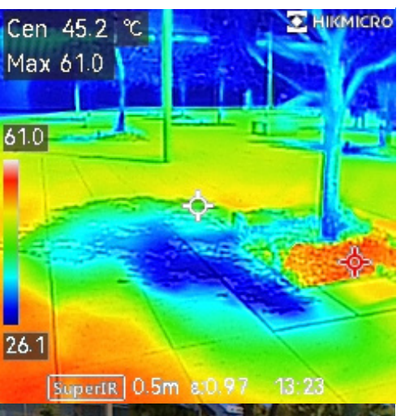
地域経営研究会地域CN部会第10回

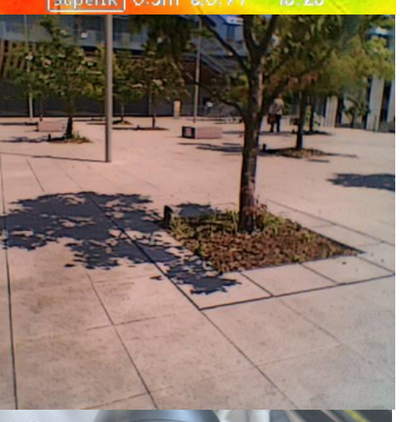
地球沸騰化時代に
どう向き合うか
ー陽東キャンパスを事例としてー



猛暑や豪雨など、気候危機の影響が地域社会でも深刻化の一途をたどっています。本フォーラムでは、国際学部の学生グループ（多文化公共圏実践演習　グローカル）が、内外の専門家等の協力を得つつ、陽東キャンパスを事例に、緑地、熱環境、交通、エネルギー、防災、well-beingを多角的・学際的に検証します。学生・地域・行政・企業・研究者がともに対話し、エビデンスに基づき「暑さに備えながら、快適性や省エネ、地域の魅力向上にもつながる未来」を探ります。





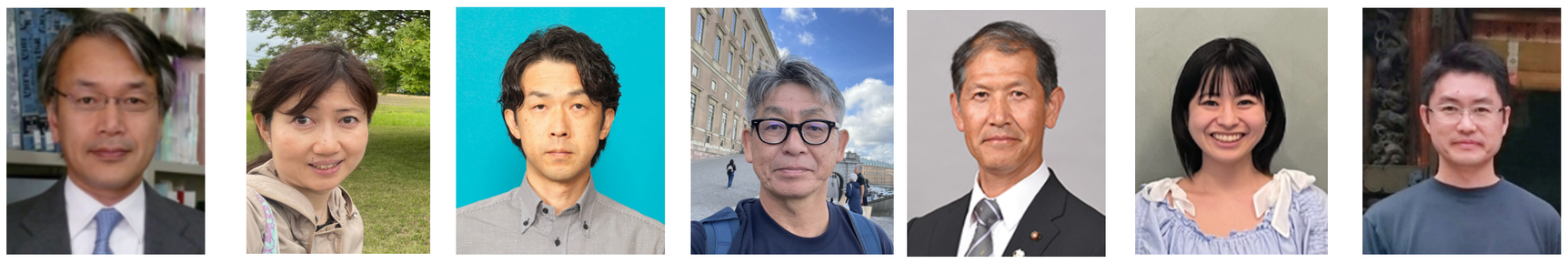


事前申込要
（6月30日まで）
先着120名

2026年 7月 2日（木）
8:30~10:00
宇都宮大学 陽東キャンパス
アカデミアホール（10号館1階）

■ 当日のプログラム■

開会挨拶　中村　真（宇都宮大学 国際学部長／教授）
趣旨説明　髙橋 若菜（宇都宮大学 国際学部教授／多文化公共圏センター長）
基調講演　伊澤　徹（宇都宮市役所環境部環境創造課カーボンニュートラル推進室室長）
学生＋専門家コラボチームによる発表
　ワークショップ
コメント　阿部 克史（株式会社ルクラスイノベーション　代表取締役）
　今井 政範（桜ヶ丘自治会長／宇都宮市議会議員）
閉会挨拶　高橋 俊守（宇都宮大学地域デザイン学部教授）
総合司会　髙橋この葉（下野新聞社／宇都宮大学国際学部卒業生）



主催：宇都宮大学国際学部附属 多文化公共圏センター UU3S (Utsunomiya University Sustainable Solutions and Synergies)Project.［https://cmps.utsunomiya-u.ac.jp/uu3s-project/］
後援：宇都宮市、宇都宮大学地域経営研究会 地域CN部会
協力：NPO法人うつのみや環境行動フォーラム、株式会社ルクラスイノベーション
問合せ：国立大学法人宇都宮大学 国際学部附属 多文化公共圏センター
TEL：028-649-5228　E-mail：tabunka-c@a.utsunomiya-u.ac.jp
お申込み先：[https://forms.gle/8YvPvDRsJkmb9Dum6] 事前申込要、2026年6月30日まで

※ 本フォーラムは、多様な立場から自由闊達な対話を行う多文化公共圏の理念に基づき、社会的イノベーションを志向して実施するものです。発表・提案内容は各登壇者・参加者の見解に基づくものであり、宇都宮大学の公式見解を示すものではありません。
※ 来場者用駐車場は用意しておりませんので、LRT・バス等　公共交通機関をご利用いただけますと幸いです。

右上写真：陽東キャンパス上空地図：Google Earth（画像最終取得日：2026年6月23日、画像時点は2025年11月4日以前）